

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



『農業経営の安心には必要不可欠』

過去に、強風や大雪でハウスが倒壊したことがあります。特に、平成28年4月の爆弾低気圧で、前年秋に新築したハウスが倒壊したことは、いまだに忘れられません。また、最近の資材高騰で復旧や設備投資には莫大な費用がかかるなど、不安は尽きません。いつ被害に遭うかわかりませんが、園芸施設共済に加入しているので、安心して農業に取り組むことができます。万が一の災害や再建時の負担軽減に備え、これからも継続加入していきます。



秋田県横手市
佐藤 良一さん

『3年間で2度の被害』



埼玉県鴻巣市
大塚 芳貴さん

ナスやトマトなどの野菜苗と、キンギョソウなどの花きを生産しています。NOSAI職員からの声かけがきっかけで、令和2年から加入しています。

令和2年12月と令和5年1月に、強風でビニールが破ける被害を受けました。苗の生産に備えてすぐにビニールを張り替える必要がありましたが、共済金を受け取ることができ、費用面でとても助かりました。

加入してから3年の間に2度も被害を受け、改めて園芸施設共済の必要性を感じました。

今後も災害に備えるため継続して加入しつつ、ハウス栽培の仲間にもおすすめしていきたいと思います。

『園芸施設共済と収入保険にも加入しました』

父の代から園芸施設共済に加入しています。以前、低気圧による突風等の被害に遭いました。近年は万が一に備えるというより、温暖化の影響で何時何処でも災害が起こる可能性があるという意識に変わりました。

小さな損害も補償できる1万円特約が導入され、令和2年から継続加入しています。令和5年から、イチゴ等の作物被害に備え、収入保険にも加入し補償内容を充実しました。



岐阜県岐阜市
福井 伸治さん

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



『特約で手厚い補償に満足感』

令和4年12月の大雪でハウス3棟が被害に遭い、2棟が全壊し、もう1棟も半分以上が押しつぶされました。復旧費用と撤去費用の特約を付けていたので、補償が手厚く、ハウスの建て替えなど、早期再建の後押しになりました。雪害以降、ハウスの内側にも補強を入れています。

野菜作物に特化した補償として、令和2年からは収入保険にも加入しています。近ごろはどのような災害が起こるか分からないので、長く続けていくためにも、支えになるものは必要だと思います。



広島県安芸高田市
(有) 援農甲立ファーム
光永 浩章さん

『ハウス全壊時に共済金が助けに』



高知県香南市
亀川 維彦さん

台風シーズンの夏場はハウスのビニールを巻き上げているので大きな被害はなく、一時期は加入をやめようか悩んだときもありました。しかし、保険は入って当たり前という考えがあり、NOSAI職員の方々も大変よくしてくれるので、加入を続けていました。

そんな中、令和2年の4月に竜巻の被害に遭い、ハウスが全壊しました。NOSAI職員の勧めで復旧費用や撤去費用、附属施設を補償する内容で加入していたので、思っていた以上に共済金が支払われ、本当に助かりました。

ハウスの近くには海や川があり、風の被害や冠水が起こりやすい場所ですが、園芸施設共済に加入しているので安心です。

『十分な補償があり助かりました』

過去の台風による被害経験と担当職員の勧めもあり、園芸施設共済加入時に付保割合追加特約に加入し、補償割合を8割から10割に変更しました。


令和4年9月の台風14号の影響により、ハウス周辺の河川が氾濫。被害状況を確認に行った時には、ハウス内の膝下まで水が溜まっており、定植したピーマンと暖房機等が泥水に浸かっていました。

ピーマンは植え直しを行い、暖房機等は入替を行ったため、大きな損失になりましたが、補償割合を8割から10割に変更しており、被害にあった暖房機等に対して十分な補償を受けることができ助かりました。

以前の台風による被害を戒めとして、補償内容を再検討した結果が功を奏しました。



宮崎県西都市
長友 正実さん

その他の声はコチラから 



検索

園芸施設共済 声

農林水産省